

／ まちの話題 ／



春の叙勲等受章者

春の叙勲

旭日単光章 白峰精一郎さん
(土地改良事業功労、元 三島土地改良区理事長)

瑞宝双光章 合田 熙^{ひろし}さん
(学校保健功労、元 学校歯科医)

山川彰夫さん
(消防功労、元 市消防団団長)

好井光江さん
(教育・保育功労、元 認定こども園三島幼稚園園長)

高齢者叙勲

瑞宝双光章 岡本圭二郎さん
(教育功労、元 長津小学校長)

第38回危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章 野村泰^{やすいち}一さん
(消防功労、元 市消防監)

春の褒章

藍綬褒章 高橋丈^{じょういち}一さん
(更生保護功績、現 保護司)



4 / 23 学校給食米田植え体験で豊作を願う

会場となった土居町蕪崎の田んぼには、市内小学校の児童や保護者など200名以上が集まりました。

参加者は、冷たい水でぬかるんだ田んぼに裸足で入り、「うまさだち」の苗を、手で丁寧に植えました。

また、うま農業協同組合と市役所から6人の職員が早乙女として参加し、苗の植え方を実演したり、実際に田植えをしたりしました。

田んぼの耕作者である則友^{のりゆき}祝幸さん(写真左)は「収穫祭に向けて、水の管理など、いろいろなと努力していくので、楽しみにしてほしい」と話していました。



世界のゲーム交流会には、英語が苦手な人でも楽しめる、ルールが簡単な6種類のゲームが用意され、参加者はさまざまなゲームを楽しんでいました。

4 / 17 市国際交流協会が主催
ゲーム交流会で笑顔あふれる



4 / 27 凡人パルプさんがしこちゅう
観光大使(2期目)に就任

本市在住で愛媛プロレスに所属する凡人パルプさんは、平成31年4月2日に初代観光大使に就任。これまでの積極的な活動実績が評価され、引き続き任命されました。



4 / 23
MONGOL800-etc.works-
TOUR 2022 名曲披露

しこちゅ〜ホールで行われ、「小さな恋のうた」など人気な楽曲やCMでお馴染みの「想うた〜親を想う〜」などが披露され、観客は手拍子や拍手で盛り上がっていました。



4 / 23
暁雨館主催イベントで
土居町内の畑野断層を巡る

参加者は、歩いて活断層を観察しました。講師の山根勝枝さん（県総合科学博物館学芸員）は「地震をただ恐れるのではなく、十分な備えをしてほしい」と話されました。



5 / 16
川之江高校が「認知症カフェ」
PRのぼりを揮毫

認知症の方やその家族、地域住民など、誰もが気軽に集うことができる認知症カフェの取り組みをPRするのぼりは、市内に開設された認知症カフェに立てる予定です。



5 / 1
まぶしい新緑の茶畑で
新茶の摘み取りが始まる

新宮町で新茶の摘み取りが始まりました。協製茶場には、作業を行う地元の人が集まり、淡い緑色をした新芽をひとつずつ丁寧に摘み取っていました。

市長の

ひとりごと

定例庁議会

新年度に入り、東京の会合や地元の種類会議などが、通年のような案内になつてきている。コロナウイルスの注意も体温の検査、手指の消毒を含め、当たり前に行われていた。でも資料として出てくる陽性者数が減っているわけではない。

今年で言えば、感染者がゼロという日はほとんどない。メディアの報道の仕方もあると思うが、一般の間も冷静に見ていて、当たり前前の感染対策をしていれば、慌てる必要はないと思っ

ているようである。ただ、その対策がどれだけ広く市民のみなさんに浸透できていくのか、今後の課題である。また、感染者の年齢が低くなっているのは現在非常に危惧している。

もしていただいているが、家族単位の感染は、ワクチン接種を理解していただき広める以外に、これといった方法はない。

ダムの水は、降雨量が上がらないから危機的状況がなかなか脱しきれない。水もコロナも市民のみなさんに、ひた向きな地道な努力をお願いする以外方法がない。よろしくお願ひします。

季節は、木々の緑が濃くなり、田んぼがきらきらと輝いてみえる。苗もすぐたくましく稲になっていく。日本の美しき風景である。集中豪雨と台風以外はね。市役所立体駐車場横に残してもらったケヤキも、葉っぱを一杯広げている。

今日定例庁議会があり、市役所の幹部会・・・、そこで課題解決に向けて少し気合を入れて一層の尽力をお願いした。自分ひとりでは、なんにもやれない。さあ、がんばろう！



四国中央市長
篠原 実